



同窓会だより

傘寿を迎えて

坂井 恵（高校15回）

高校15回生の私達は80才を迎え、令和6年11月29日鎌倉銀座アスターで出席者30名が集い同期会を開きました。欠席者の方々の近況が綴られたハガキも廻し読み致しました。今60年の歳月が過ぎ、人生80年の歩みの中で鎌女で学んだ6年間、友と培った絆がこの年になっても脈々と繋がっていることを考えます。「鎌女つて本当にいい」「鎌女で良かった」と改めて思います。50年間アメリカで暮らしている友も里帰りし、すぎし日の思い出をたぐり寄せながら昔話に花が咲きました。皆、どつぷりと後期高齢者になります。それぞれのテーブルから聞こえる心根や笑い声は若い頃と同じです。今回の同期会はどう出来ないかも知れませんが、毎年6月に行われる尚綱会の総会に参加したら「きっと誰かに会える」を合言葉に楽しい同期会は散会となりました。大切な友の日々がずっと健康で幸せであるようにと願った一日でもありました。



15 回生

古稀を迎えて

遠藤利栄子（高校26回）

コロナで延び延びとなっていた同窓会を令和7年3月18日（火）横浜スカイビル29階の梅の花にて開催した。

前回の同窓会から7年が経ち、この間にLINEグループでの同窓会メンバーが徐々に拡がり現在は59名が参加している。今回の同窓会も、このLINEで出欠席を確認し、後は郵送や電話で連絡を取った。結果、遠く熊本や高知から、北は筑波から交通機関を何度も乗り換えて、



26 回生

又、電動車椅子で颯爽と参加の友達等々35名の出席があった。今回は残念ながら先生方のご出席は叶わなかったがお元氣にお過ごしを願うばかりである。受付時間前から、多くの同窓生が集まり始め、互いに経年変化した容姿から当時の面影を見つけては、「変わらないネ」の声飛び交う。幹事の挨拶が続いて、出席者全員の近況報告を聞き、古稀を迎えて益々元氣に活躍している友達に刺激を受けたり感心したり、でも陽気でシャイな鎌女生気質は健在な様だ。お開きの時間が迫って来ても話が尽きる事の無い賑やかさの中、次回の幹事も決まり、出席者皆さんの協力に感謝申し上げますと共に再会を楽しみにしたい。



支部だより

横浜支部

支部長 尾西 真弓（高校33回）
平素より横浜支部の活動にあたたかいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昭和44年に発足した横浜支部は、50年以上にわたり多くの会員の皆様に支えられ、親睦と交流を深めてまいりました。会費は一人ひとりのお気持ちとし大切に扱い、支部だよりも外部に委託はせず、役員が協力して印刷・発送を行うなど、心を込めた運営を続けてまいりました。

しかしながら近年は、若い世代における支部への関心の低下に加え、会費納入者の減少、役員の高齢化、そして後継の担い手不足といった課題が重なり、支部としての活動継続が困難となりました。そのため、誠に残念ではございますが、横浜支部を廃部する事となりました。

廃部を選択する事になり力が及ばず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

長年にわたり支部活動を支えてくださいました皆様に、心より御礼申し上げます。

これからは是非、尚綱会の行事などにご参加いただきますようお願い申し上げます。



横須賀逗葉支部

支部長 見米 裕子（高校18回）
一年に一度の総会は、一年がかりの計画で会場の手配、予約、イベントの準備等会長、幹事の皆様大変お疲れ様でございました。

私達支部総会も一年前より会場探しを致します。最近の物価高騰により、なかなか意に添う場所が見つかりません。

昨年は初めての場所をお借りして行いました。出席者は少人数ではございましたが、クラス会のような雰囲気、和気あいあいとなんとか無事に行う事が出来ました。今年になつて役員は五名に減つ

関西支部

支部長 福 マサエ（高校22回）
関西支部の皆様、毎日暑い日が続きますが、お元気ですか。

支部総会に年々、参加する方が少なくなり思うようにはいきませんでした。

残念なお知らせですが、諸事情により、今年度で関西支部を「廃部」といたします。長い間、支部の活動に協力して頂き、ありがとうございました。

今日まで支部でお預かりしていただきました会費等は、尚綱会に寄付しますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。「松の操」の誌上をお借りいたしました。関西の会員の皆様へのご連絡とさせていただきます。